

櫻

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和7年 3月14日(木) Vol.45

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」
「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

ご卒業おめでとうございます

13日(木)、52回目となる本校の卒業式を、無事に行うことができました。卒業生は、担任の先生からの呼名に立派に応え、素晴らしい歌声を響かせて、堂々と巣立っていきました。

涙を浮かべている生徒や、満面の笑みをたたえてうれしそうなお生徒など、表情は様々でしたが、誰もが中学校を去り、未来に向かうということを実感したのではないのでしょうか。

私は式辞の中で、「最後のメッセージ」として、様々なことを伝えました。ここでは、「未来に向かうための心構え」について、その一部を紹介します。

卒業証書の日付は、中学校生活のゴールであり、未来へのスタートの日です。

過ぎ去った出来事を後悔しても、過去を変えることはできません。また、どれほど対立しても、相手の心や生き方を、誰かが変えることはできません。過去と、他人は、変えられないのです。

しかし、未来と自分は、変えることができます。分かってほしい、と誰かに求めるのではなく、分かってもらえるように、自分自身で努力することができます。その積み重ねが、未来を開くのです。

皆さんは、これから何にでもなれます。何でもできます。そして、何度でもやり直し、挑戦することができます。

今日、校門を一步踏み出したら、そこから先が、皆さんの未来です。自分を信じて、力強く、歩き出してください。



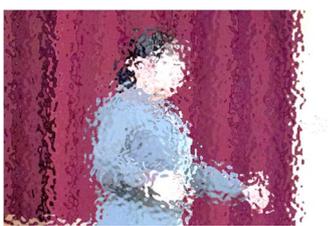
【卒業記念品授与・生徒代表】



【送辞・卒業生代表】



【卒業の歌・「虹」】



【全校合唱・「時を越えて…」】



*このページに掲載された写真は、全て予行練習でのものです。



【校歌】



【送別の歌「旅立ちの日に」】



未来に向かって、
一歩一歩！



〇〇さんは校歌と送別の歌のどちらも伴奏を担当し、頑張りました。また、校歌の指揮者は、在校生の代表として送辞も述べました。

卒業までのわずかな日々で



【教室を彩った様々な掲示物を全て撤去。この作業をすると、年度末を実感します】



【相棒だったタブレットともお別れ。画面を磨き、ケースのケバを取ります】



【走ったり、ふざけ合ったり、友達を待たせたりしてきた廊下を、感謝を込めて磨きます】



【3送会を全力で楽しみました。1、2年生の頑張りにより3年生は大喜び。そして、3年生のリアクションに、1、2年生もこれまた大喜びで、笑顔満開の一日になりました】



【義務教育最後の授業では、担当の先生に感謝状が贈呈されました】



【みんなの血となり肉となった毎日の給食。おかわりジャンケンをしたり、残さないようにみんなで頑張ったり、楽しい時間でした】



【卒業アルバムが配付されると、何をさておいても、寄せ書き集めに奔走します。友達同士はもちろん、先生にも「一言書いてください!」と声をかけてきて、11日(火)は、あちこちでずいぶん盛り上がっていました。写真左から2枚目は、驚異的な集中力で寄せ書きに取り組む学年主任。全力でしたためています。左から3枚目は、行列のできるALT。ネイティブの流麗なメッセージに、生徒は感激していました。いちばん右は〇〇先生。通りがかったところに声をかけられ、次々にアルバムが集まってきて、サイン会のようになっていました】



【予行練習を終えて、ほっと一息。卒業式の主役は卒業生なので、見せ場が多く、それだけ緊張します。表情を緩めて、友人としゃべり、そこへ先生もやってきてリラックスした、和やかな時間が流れます。生徒は日常生活の中で「メリハリをつけよう」と呼びかけることがあります。大切な場面は集中して緊張して臨み、一山越えたらリラックスして、気持ちがあほぐれたところで、もう一度スイッチを入れ直して臨む。そのようなサイクルを大切にしています。この写真の休憩時間のあとも、しっかり切り替えて、全校合唱の練習に取り組みました】

【卒業生の保護者の皆様】

お子様のご卒業、誠にありがとうございます。これまで本校へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

お子様は、これから先も、自己主張したり、反発したりすることもあるでしょう。しかし、今後の心の成長とともに、振り返って優しく微笑んでくれる日が、必ず来ます。

自分が反発したとき、親がどんな気持ちでいるか、ほんとうは分かっているのです。そして、「自分が、どれほど大切に育てられてきたのか」を、実感しているのです。

これからも、お子様を支え、励ましていただきますようお願いいたします。卒業生の進む先が、明るく、温かい光に満ちあふれていることを、心から祈ります。

71名の将来の姿が、今からとても楽しみです。

栄光は君に輝く

12日(水)、卒業式の最後の全校練習を終えた後に、賞状の伝達を行いました。文化系の活動が目覚ましく。コツコツと努力している様子がうかがえます。

この「努力」については、これまでの人生の中で、数え切れないほど言ったり聞いたりしてきた言葉でしょう。この紙上でも、何度となく訴えてきました。では、努力すれば、必ずうまくいくのか、というと、答えは「否」です。どんなに頑張っても、いい成果につながるとは限りません。

「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。いい成果を出している人は、すぐに結果が現れずとも、必ず何かしらの努力をしているものです。努力して、結果が出なくても、あきらめずに努力を続けていけば、いい成果を出す可能性が、高まっていくはずですよ。

この「…下へと根を伸ばせ」のあとには、「やがて大きな花が咲く」と続くそうです。「いつかできるようになる・いつか到達する」と信じて、自分のペースで、コツコツと努力を続けられるよう願っています。未来は変えられるのです。

大会名	賞	クラス	氏名
成田市奨励賞		3A	[Redacted]
成田市社会福祉協議会福祉作品コンクール 福祉標語の部	入選	3A	
		3A	
	佳作	3A	
		3A	
		3A	
		3B	
		3B	
千葉県小中高校書き初め展覧会	特選	3A	
二部会書き初め展覧会	準特選	3B	
	入選	3A	
		3A	
		3B	
		3B	

大会名	賞	クラス	氏名
校内書き初め展	学校長賞	3A	[Redacted]
	金賞	3A	
		3B	
	銀賞	3A	
		3B	
		3B	
	銅賞	3A	
		3A	
3B			
成田市選挙啓発書初め展	金賞	3A	
		3B	

なお、運動部などの賞状伝達は、修了式の中で行うので、次号に掲載する予定です。



20日(木)、〇〇さん(1B)が、南関東中学校陸上競技大会に、「1年・100m」で出場します。

この大会には現3年生の2名も、昨年度、2年生だったときに、出場しました。

県の内外から強豪校や有力選手がたくさん集まる大きな大会で、自分の力を試すと同時に、すごいと思えるような選手にも出会って、視野がさらに広がるのではないのでしょうか。

〇〇さんは、県の強化合宿にも参加し、着々と力を付けています。全力で駆け抜け、さらなる高みを目指してほしいものです。